

# 東雲

首里東高校通信



みなさんの活躍を応援します。

## 相撲 個人優勝

平成27年5月に行われた高校総体県予選にて本校3年生が軽量級の部個人で優勝しました。優勝の要因は「自分の相撲を取り続けたこと」、「お世話になっている両親や顧問への恩返し」、「練習中、サボろうと思えばサボれるがそこでの踏ん張り」。練習中、ぶつかり稽古はきつかったと振り返っていました。6月には九州大会に出場するが、賞状を持ち帰ることが目標と少々控えめでした。

## 地域の方、保護者へ

県教育庁には高文連や高体連がありまして、子ども達の日頃の技を披露・挑戦する大会があります。首里東高校では部活動によって生徒を鍛え大会へ参加しています。しかし、例えば地域の道場にて練習を積み重ねてはいるが、本校に部活動がないことにより大会に出場できないこともあります。そこで、生徒を通して本校に連絡して頂ければ本校の規定に沿うことを確認し、個人団体問わずその生徒の挑戦を認めます。励まし方宜しくお願いします。

## 高校総体 総合31位

高校総体県予選も終わり、現在は、個人の部で九州大会等へ出場しています。首里東高校は総合順位31位で

### 開会式行進①



### 開会式行進②



部活動担当者は目標に届かなかったと少々肩を落としています。こんな事では終わりません。まだまだ、子ども達の活躍を応援しましょう。現在は、1、2年生による新体制にて部活動が始まっています。

## 池田先生の言葉

私は啐啄同機(せったくどうき)という教育の本質を突いた言葉が好きです。ひなが卵の殻を内から破ろうと突つくと親鳥が殻の外から突く。双方の動きが呼応して殻は破れ、ひなはかえる。教師は子どもに向き合う。うなわち「真向かう」ことが大切です。

## テキサス州へ短期留学

7、8月にかけて3週間のテキサス州への短期留学生在が決定しました。2年生女生徒です。小論文2題の一次試験では270人から80人に絞られ、英会話面接、プレゼン2題の二次試験では50人枠に合格しました。1番の楽しみは現地学生との交流であり、米国文化との接触ですと話してくれました。アポロ宇宙船のあるNASA施設での研修も外すことはできませんとのこと。前半の2週間はヒューストン大学の寮、後半1週間はホームステイで交流します。私とのインタビューの間、終始笑顔で希望に溢れていました。きっと有意義に過ごし成長して戻ることでしょう。中学生のとき1ヶ月間シアトルに短期留学した際は、ホームシック、英会話ができない、また、周りに日本語のわかる方が多く生きた英会話ができなかった等で欲求不満状態だったが、今回はそのリベンジだとも付け加えていました。

## 進路指導部

大学等進学を取組として進路指導部が動いています。小論文研修会(80人参加)。沖女短、キリ学・キリ短、沖国大説明会(3大学計で120人参加)。研修会では作



文と小論文では内容がまっ

たく異なることや説明会では、本校OBの来校もあり有意義でした。

(もっと子ども達からの質問が欲しかったかな)

### 家庭学習用ノート・

ボールペン使い切り運動がスタートしました。興味ある取組です。いくつかの注意事項はありますが、各学年上位10人には表彰があります。保護者の皆様から子ども達へ挑戦するよう是非、檄を飛ばしてください。



※檄を飛ばすの使い方では本来は間違いのようです。